

## 7 平成 20 年度 事業のまとめ

### (1) 利用者にとって、より便利で快適な図書館を目指します

#### ア 身近な公共施設での図書の貸出・返却取次の試行(図書取次サービス試行事業)

区役所連携事業として平成 17 年 10 月に開始した図書の貸出・返却取次サービスを、引き続き試行実施しています。

#### 【平成 20 年度利用実績】

区	場 所	実施内容	延利用数		
			利用者(人)	貸出(冊)	返却(冊)
旭	二俣川駅(相鉄線) 行政サービスコーナー	貸出・返却	31,598	52,267	78,853
戸塚	東戸塚駅(JR線) 行政サービスコーナー	貸出・返却	55,156	90,355	112,624
緑	長津田駅(JR線・東急線)	返却ポスト			19,968
青葉	美しが丘西地区センター	貸出・返却	5,981	10,096	11,329
	大場みすずが丘地区センター	貸出・返却	2,878	4,970	5,519
	奈良地区センター	貸出・返却	8,068	13,819	18,424
	藤が丘地区センター	貸出・返却	7,792	13,697	12,234
	若草台地区センター	貸出・返却	6,447	10,955	9,809
	田奈ステーション (区民交流センター内)	貸出・返却	5,031	8,245	8,468
	市が尾駅(東急線) 青葉台駅(東急線) たまプラーザ駅(東急線)	返却ポスト			171,402
図書取次サービス事業総計			122,951	204,404	448,630

#### イ 利用者の要望の把握(広聴事業)

平成 20 年度に「市民からの提案」などに寄せられた図書館に関する意見・提案は 309 件でした。主な内容は、件数の多い順に、施設に関すること(40 件)、地区センターとの連携・返却ポスト増設などサービスポイントの拡大(38 件)、図書の予約に関すること(33 件)、図書の貸出・返却に関すること(31 件)となっています。

項 目	内 容	件数	主な意見・要望等
図書館運営に関すること	図書館建設・充実	22	図書館の新設整備
	サービスポイント	38	地区センターでの図書取次の拡大
	施設に関すること	40	駐車場・駐輪場の整備
	運営のあり方	28	運営手法に関する意見
	その他	26	ホームページの改善
図書館サービスに関すること	貸出・返却	31	借りた図書の履歴表示
	図書の予約	33	連絡メールの記載内容の改善
	図書館システム	3	携帯電話からの蔵書検索の実施
蔵書に関すること	蔵書充実・資料収集	17	学術書などの充実
	資料管理・書架管理	21	汚破損図書の確認・修理
職員に関すること	市民応対	19	窓口や電話での応対の改善
その他	利用者マナー	8	大きな声を出す利用者への不快感
	その他	23	サービスに対するお礼
合 計		309	

## ウ 雑誌のインターネット予約サービス開始

図書と同じように、雑誌も図書館ホームページ、館内利用者用検索機から予約ができるようにして欲しいという要望を受け、平成20年7月からサービスを開始しました。

## (2) 市民の調査研究を支援するとともに、図書館からの情報発信に努めます

### ア 図書館ホームページの充実

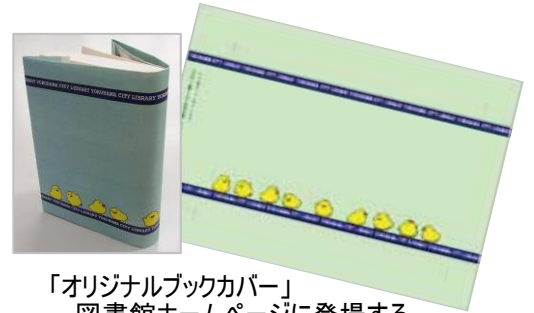
#### 外国語利用案内を掲載しました。

英語版に加え、中国語（簡体字・繁体字）、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タイ語の利用案内を新たに掲載しました。

#### 開港150周年に関する情報の発信を行いました。

開港150周年関連情報として、開港期の横浜が舞台として登場する小説のリスト「小説で読む150年前のヨコハマ」や、子ども向けのブックリスト「この本を読んで“開国博Y150”へ行こう!!」などを掲載しました。

また、市立図書館オリジナルブックカバーのダウンロードサービスを、平成21年1月4日から2月1日の期間限定で実施しました。



「オリジナルブックカバー」  
図書館ホームページに登場するキャラクターのほか、開港当時の浮世絵など全14種類。

#### ホームページのリニューアルを行うとともに、コンテンツの充実に努めました。

平成21年3月30日に、市立図書館ホームページをリニューアルしました。トップページの情報を整理し、より使いやすいホームページになりました。

地域図書館のホームページでは、昨年度に引き続き、行事のお知らせや新着図書情報の発信に努めました。平成20年度の新たな取組として、青葉区内の各地域の街並みや風景の移り変わりを記録した昭和戦後期の写真をデジタル化し、地区ごとに分類整理した「青葉区風景写真データベース 昭和戦後期編」を、8月29日から山内図書館ホームページで公開しています。



「市立図書館ホームページトップページ」(リニューアル後)



「青葉区風景写真データベース」(山内図書館)

## 【図書館ホームページ アクセス件数】

(件)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
図書館ホームページ	1,866,081	3,428,155	5,033,996	5,983,939	6,387,885
図書館蔵書検索ページ	2,582,889	3,910,981	5,882,168	6,734,980	7,865,861

イ 企画事業の実施（詳細は、「10 利用状況(9)企画事業、その他の事業」P44 参照）

(ア) 統一キャンペーンの実施

ターゲットやコンセプト、時期をあわせて行事を企画、実施するとともに、全館で統一的にPR活動を行いました。

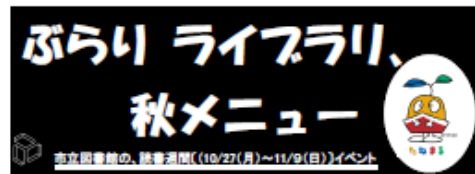
夏休みにあわせ、子どもたちを対象に、全館で「2008 サマーわくわくとしょかん」（7月23日～7月31日）を行いました。「プールにあきたら、図書館へ行こう！」をキャッチフレーズに、子どもたちを対象とした図書館体験事業や特別おはなし会などを実施しました。

また、秋の読書週間には、「ぶらりライブラリ、秋メニュー」（10月27日～11月9日）と冠し、読書フェスティバル（中央図書館：11月8、9日）や郷土・地域に関する資料展などを実施しました。

これらの行事は、市立図書館統一イベントとして、共通のポスター・ちらしを作成し、全市的に広報することで、より効果的なPR活動を行うことができました。



「としょかんキッズ スタンプラリースタンプ帳」(保土ヶ谷・旭・泉・瀬谷図書館)



(イ) その他の事業

開館記念周年事業や郷土資料関連事業を行いました。

戸塚図書館（開館30周年）、栄図書館・泉図書館（開館20周年）で記念事業を実施しました。

また、中央・神奈川・港北・緑図書館の合同企画として、「横浜線開通100周年『鉄道とまちの歩み』」巡回資料展や講演会を実施しました。

ブラジル移民100周年にちなんだ「ヨコハマと移民展」（中央図書館）や平成21年の開港150周年を見据えたプレイベントなど、各図書館で企画展示を行い、市立図書館が収集・保存してきた資料の紹介にとどまらない、さまざまな情報の発信に努めました。

「横浜にプロ野球チームがやってきた」(中央図書館)



↑横浜大洋ホエールズ時代のグッズ

1998年日本シリーズ優勝トロフィー



〔協力〕  
横浜スタジアム  
横浜ベイスターズ

「横浜線開通100周年『鉄道とまちの歩み』巡回資料展」

(中央・神奈川・港北・緑図書館)



巡回展示(緑図書館)



「開館 20 周年記念図書館まつり」(泉図書館) 拡大写本の展示や、押し葉の“しおり”づくり体験など、市民グループと協働でイベントを行いました。泉区のマスコット「いっずん」も登場。



「金沢図書館のお蔵出し」(金沢図書館) 書庫で保存している貴重資料を展示。展示資料目録も作成しました。

事業の実施にあたり、区役所や地域団体との連携をすすめました。

図書館で企画、実施する事業のほか、区役所や地域の機関・団体と連携し、読み聞かせ講座や図書の修理講座、資料展示会などを行いました。

その他、地域団体や市民グループが企画したイベント・講座に対し、資料提供や講師派遣を行いました。

## ウ 市民の調査研究への支援

レファレンスサービスの充実に努めました。(Eメールレファレンス・「調査のミカタ」シリーズ)

図書館では、資料や情報を探すお手伝い＝レファレンスサービスを行っています。従来のカウンター、電話、Eメールに加え、平成 21 年 1 月 14 日から、新たに電子申請によるレファレンス申込の受付を開始しました。

また、資料目録、パスファインダー（探し方のご案内）及びテーマリスト（テーマに即した資料紹介）を「調査のミカタ」シリーズとして発行し、課題解決のための情報提供に努めています。

### 「調査のミカタ」シリーズ（平成 20 年度発行／改訂分）

#### ■目録

CD-ROM データベース等資料目録	20. 10 改訂
ヨコハマ地図目録（発行年別）	20. 11 改訂
神奈川県内住宅地図目録	20. 12 改訂
教科書目録 高等学校	21. 1 改訂
教科書目録 中学校	21. 1 改訂
教科書目録 小学校	21. 1 改訂
教科書目録 特別支援学校	21. 1 発行

#### ■パスファインダー

病院を探す	20. 10 改訂
病気を調べる	20. 10 改訂
薬を調べる	20. 10 改訂
横浜の地図を探す	20. 11 改訂
横浜みどり税を調べる	21. 1 発行
インフルエンザについて調べる	21. 1 発行

#### ■テーマリスト

地球温暖化を考える 2008	20. 7 発行
裁判員制度を知る	20. 9 発行
世界をリードする日本の科学者たち	20. 10 発行
横浜・開港を知る	20. 11 改訂
認知症について知る	21. 1 発行



中央図書館4階に“暮らしを守る”法情報コーナーをオープンしました。

市民の法律に関する調査支援を目的として、平成20年12月16日に中央図書館4階社会科学部門に法情報コーナーを開設しました。各種法律相談書から専門分野の基本資料まで揃え、関連機関の案内や資料の調べ方などの情報ナビゲーション機能を持たせた、法情報サービス探索の基点となるコーナーです。開設時に行ったミニ展示では、「あなたの身近な法律」「裁判員制度」「内定取消・派遣切り問題」などをテーマに取り上げました。



平成18年度に開設した医療情報コーナーに続く、市民の課題解決支援サービスとして、全国の図書館からも注目されています。

コーナー開設のイベントとして、10月に裁判員制度PR企画、3月には模擬裁判や弁護士による法律講座などを実施しました。

<法情報コーナー関連企画事業> (詳細は、「10 利用状況(9)企画事業、その他の事業」P44 参照)

- 1 裁判員制度ってなんだろう 法情報コーナー開設イベント (10月)
  - (1) パネル展「裁判員制度ってなんだろう」(パネル提供：横浜地方検察庁)
  - (2) 上映会「映画で裁判員制度」
  - (3) パネルディスカッション

「こんな裁判員制度にしたいー裁判官・検察官・弁護士が考える裁判員制度ー」  
協力：横浜地方裁判所、横浜地方検察庁、横浜弁護士会、法テラス神奈川  
配布資料：「裁判員制度を知る」(「調査のミカタ」シリーズ)



「パネル展 裁判員制度ってなんだろう」



「パネルディスカッション」  
観客席の人たちも、O×シートを使って、ディスカッションに参加しました。

- 2 法情報コーナー開設記念イベント (3月)
  - (1) 裁判員制度説明会 (共催：横浜地方検察庁)
  - (2) 図書館で模擬裁判 (共催：横浜地方裁判所)
  - (3) シニアのための法律講座  
(共催：法テラス神奈川)



「模擬裁判」

- 3 裁判員制度巡回展

横浜地方検察庁より提供された裁判員制度パネル (提供：横浜地方検察庁、データ作成：法務省)を活用した展示を、地域図書館4館で実施しました。

「PCリサーチコーナー」をリニューアル、全館にインターネット閲覧用パソコンを設置し、情報提供の充実を図りました。

平成20年4月22日に、中央図書館3階の「PCリサーチコーナー」をリニューアルし、新聞等情報、官報、判例・法令、経営情報、医学文献情報の計6種のオンラインデータベースの提供を開始しました。従来からのCD-ROMデータベース(約400タイトル)閲覧用、インターネット閲覧用を含め、計15台のパソコンを擁した情報検索コーナーが誕生しました。

また、平成18年2月に中央図書館で開始したインターネット閲覧サービスは、その後、地域図書館への展開をすすめ、平成20年度中にインターネット閲覧パソコンの全館設置が完了しました。

## エ 行政への支援(庁内情報拠点化事業)

引き続き、市役所各部署を対象に、日常業務や新たな事業の企画立案等のために必要な情報に関するレファレンスや、資料提供などを行いました。

平成11年度に開始した庁内情報拠点化事業は、市役所内部での図書館の認識を高め図書館サービスの充実につなげることで、市役所が行う市民サービスを支援することにより図書館サービスの拡大を図ることなどを目的として実施しています。

### 【庁内情報拠点化事業利用実績】

区分	業務用資料貸出(冊)		レファレンス受付(件)		ブックリスト作成(件)	
	対象区局数	利用実績	対象区局数	利用実績	対象区局数	利用実績
平成17年度	41	1,322	43	268	1	1
18	34	842	29	230	1	2
19	37	1,525	36	280	1	1
20	37	1,308	31	403	1	1

注)平成18年度に主管課を企画運営課から調査資料課へ移管。受付・統計方法に変更あり。

### 【ブックリスト作成実績】

局名は提供年度当時の名称

リスト名	提供年度	提供対象局
児童虐待関連文献リスト、児童虐待を考える100冊	平成9年度	衛生局・福祉局
自治の風景	平成10～12年度	総務局
地球温暖化を考える	平成10年度	環境保全局
初めて出会う絵本のリスト わくわく見つけた!	平成14年度	衛生局
先輩係長が選んだ「新任係長に薦めるこの1冊」	平成14～19年度	行政運営調整局
横浜市議員ブックガイド	平成11、15年度	市会事務局
ヨコハマはG30～環境問題に関する映像等資料	平成16年度	資源循環局
新採用職員向けミニブックリスト	平成18年度	行政運営調整局
新聞記事クリッピングのノウハウ・入門編	平成18～20年度	行政運営調整局
メンターになったら読む本・入門編	平成20年度	行政運営調整局

注)メンター:直属の上司とは異なった視点から助言を行ったり相談を受けたりする人。相談をする人は、メンティーと言う。

### (3) 「横浜市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の推進に努めます

#### ア 子どもの読書活動推進（詳細は、「10 利用状況(9)企画事業、その他の事業」P44 参照）

「横浜市立図書館児童サービスの基本的考え方」及び「横浜市立図書館児童サービス2か年計画」を策定しました。

横浜市立図書館で行われている児童サービスの現状と課題を整理し、今後の市立図書館の児童サービスの方向性を示すことを目的とし、「横浜市立図書館児童サービスの基本的考え方」としてまとめました。

また、児童サービスの全館的な事業推進を図るため、2か年（平成21・22年度）計画をあわせて策定しました。今後は2か年計画に基づき、学校や地域と連携・協力しながら、図書館へ来館できない児童を含めた市域のすべての児童を対象として、その読書活動を推進します。

子ども読書の日（4月23日）を中心とした子どもの読書活動啓発のための取組



「読書スタンプマラソン」  
完走者には、表彰状を贈呈しました。

2年目を迎えた“読書スタンプマラソン”やホームページ「今月のおすすめ本」で紹介している図書の展示を全館で実施したほか、中央図書館では第19回読書感想画コンクールの横浜地区入賞作品（小中学生）の展示会を行いました。

そのほかにも特別おはなし会や子どもたちからおすすめの本を紹介してもらった「みんなで作ろう おはなしの木」など、各図書館でさまざまな取組を行いました。



「読書感想画展」(中央図書館)  
第19回読書感想画コンクール入賞作品を展示しました。

「みんなで作ろう  
おはなしの木」  
(金沢図書館)  
木をイメージした  
掲示板を使って、  
子どもたちから  
のおすすめ本を  
紹介しました。



乳幼児向け絵本紹介・図書館紹介パンフレット「おひざにだっこで楽しむ絵本」を発行しました。

乳幼児期の読み聞かせの重要性、方法、わらべうたの紹介、絵本リストのほか、図書館の利用案内を記載したパンフレットを発行しました。平成21年3月より各区福祉保健センターの4か月児健診時及び市立図書館全館で配布を開始し、広く保護者の子育てを支援しています。

パンフレットは、市立図書館ホームページにも掲載しています。





## 多文化理解をすすめるための取組

平成20年5月末に横浜で開催された第4回アフリカ開発会議にあわせて中央図書館で「子どもの本で読む、知る、楽しむ、アフリカ」展を開催したほか、地域図書館でも関連した企画展示を行いました。

また、文部科学省委託事業として、市民と共に「横浜市立図書館における児童生徒に対する多文化・多言語サービス推進事業」を実施しました。内容はまず、外国につながりを持つ児童生徒向けの通訳付き図書館見学会（中央：9月、12月）と科学あそびの会（南：12月）。次に、展示「子どもの本で知るアジアの国々」（中央：10～11月、泉：1月）とその関連事業。三つ目は「アジアの子どもの本セット」学校貸出と訪問ブックトーク（貸出：11校、ブックトーク：10校実施）です。年度末には、講演会「多文化社会を生きる子どもと読書」及び事業報告会を開催しました（中央）。

「通訳付き図書館見学会（タイ語）」（中央図書館）



「よんでみよう アフリカの本」  
（旭図書館）  
横浜市で開催されたアフリカ開発会議（5月28日～30日）にあわせて作成したブックリスト。A4、4P。



## イ ボランティアへの支援

読み聞かせ等ボランティア養成講座・ボランティア交流会を実施しました。

子どもの読書推進に取り組む市民を対象とした、絵本の読み聞かせとストーリーテリングの連続講座「おはなしボランティア講座」を、8館（中央・中・港南・旭・金沢・港北・山内・泉）で実施しました。この講座は、外部講師による講義に加えて、司書が実習指導や関連資料紹介を行い、好評を得ています。また、図書修理に関わるボランティア向けの修理講座を、3館（神奈川・磯子・瀬谷）で実施しました。ボランティア向けの講座は、各図書館でも独自に企画、実施しています。

ボランティア活動の情報交換の場としての交流会は8館で開催し、参加者同士の情報交換と、図書館からの資料紹介・情報提供を行いました。

また、おはなし会活動を行うボランティアグループ等に対し、全館で21,765冊の図書貸出を行い、地域や学校での活動を支援しました。



「学校図書ボランティア講座[図書修理]」  
（緑・山内・都筑図書館）



「小学校読み聞かせボランティア向け  
初級絵本連続講座」(鶴見図書館)



#### ウ 学校への支援(学校連携事業)

市立図書館は学校への支援のため、全館で学校連携事業に取り組んでいます。平成20年度は、教職員向け貸出や研修会への司書の講師派遣などの実績が増えました。特に、各区に4校指定された『まち』とともに歩む読書活動推進校との連携が進みました。

【平成20年度実績】

( )内は平成19年度実績

実施内容	延実施回数	延利用人数又は冊数
図書館見学	215回 (199回)	6,992人 (7,460人)
図書館来館 (おはなし会・ブックトーク等)	22回 (12回)	1,111人 (966人)
学校訪問 (おはなし会・ブックトーク等)	149回 (65回)	8,980人 (5,440人)
職業体験学習・職業インタビュー	166回 (129回)	597人 (474人)
調べ学習	36回 (46回)	784人 (781人)
その他 (講習・レファレンス等)	160回 (83回)	2,198人 (1,568人)
教職員向け貸出	673回 (587回)	15,182冊 (12,396冊)

#### (4) その他のトピックス

広告料収入等を積極的に活用し、経費節減に努めました。

図書館ホームページへのバナー広告掲載や、大学案内パンフレットラック設置による広告事業のほか、平成20年度は、専用スタンドに設置されたモニターで企業の広告映像を放映し、その広告料の一部でAED(自動体外式除細動器)を設置しました。単に設置だけではなく、保守・メンテナンス経費や職員向け操作研修等の費用も捻出しました。



「電子番号案内表示板」  
(中央図書館1階カウンター)



「液晶モニター付きAEDスタンド」

また、中央図書館では、1階カウンターでの書庫資料の請求及び地下1階の音楽映像ライブラリーの視聴席の順番待ち番号の案内を表示する、広告映像付きの電子番号案内表示板を、平成21年4月1日から設置します。広告料により、表示板設置及び維持管理経費の節減が可能となりました。

視覚障害者用機器が中央図書館に寄贈されました。

「24時間テレビ」チャリティー委員会(日本テレビ内)から、先進的なサービスを展開する公共図書館として、中央図書館に「視覚障害者サービス用機器」が寄贈されました。

印刷された文字を、モニターに高倍率で拡大表示する「拡大読書器」、印刷内容を音声で読み上げる「活字自動読み上げ機」、DAISY(デージー)図書(注1)を聞くことができる「DAISY再生録音機」などが、平成20年8月8日から中央図書館1階視覚障害者サービスコーナーで利用できるようになりました。

(注1) DAISY(デージー)図書

ページの呼び出しや内容のまとまりごとに再生箇所を移動できるなど操作性に優れ、1枚のCDに長時間収録できるデジタル録音図書。



「活字自動読み上げ機」



「拡大読書器」